

# 令和3年度(2021年度) 事業実績報告書

## 1. 申請者の概要

申請者	団体名	泉佐野商工会議所
	代表者職・氏名	会頭 濱崎 忠親
	所在地	〒598-0006 泉佐野市市場西3丁目2番34号
	担当者	職・氏名 中小企業相談所長 永田一夫
	連絡先	TEL(直通): 072-462-3128 Fax: 072-463-8780 E-mail: <a href="mailto:info@izumisano-cci.or.jp">info@izumisano-cci.or.jp</a>
①設立年月日 ②職員数 (うち経営指導員数) ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数(組織率)		昭和 <b>25</b> 年 <b>12</b> 月 <b>9</b> 日  <b>12</b> 名(経営指導員 <b>7</b> 名) (令和 <b>4</b> 年 <b>3</b> 月 <b>31</b> 日現在)  <b>5080</b> (平成 <b>28</b> 年度経済センサス) <b>3226</b> (平成 <b>28</b> 年度経済センサス) <b>1173</b> (令和 <b>4</b> 年 <b>3</b> 月 <b>31</b> 日現在)  ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること
□主な事業概要(定款記載事項等)		
1. 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 2. 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 3. 商工業に関する調査研究を行うこと。 4. 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。 5. 商工業に関する講演会又は講習会を開催する。 6. 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。 7. 博覧会・見本市等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。 8. 商事取引に関する仲介又は斡旋、仲裁を行うこと。 9. 商工業に関して相談に応じ、又は指導を行う。		

(1) 事業の目標
<p>小規模事業者が持つ強みを発揮できるように、経営相談事業では親切・丁寧に問題解決に向けたサービス提案を行い、事業者自身が気づいていない潜在的な課題の掘り起こしを行い、解決に向けた支援を行う。特に金融支援や資金繰り支援では、その背景にある課題を見逃すことなく取り扱うことで、真の課題解決を目指す。又、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない柔軟な働き方が求められており「テレワークセミナー」の開催により、導入・定着に取り組もうとする事業者も支援する。労働力不足と働き方改革については、就職フェアや就労フェア、障害者雇用セミナー等を通じて、少子高齢化社会による人口減少などにより、年々、働き手の減少が続く中、今後ますます増加するであろう業務負担に対して、効率的に負担軽減が行えるようにすることを目的とする。副業起業希望者等の増加等、多様な起業の実態に対応し泉佐野市の認定連携創業支援事業者として、市や地域金融機関と連携を図りながら創業支援に取り組む。ITやIoT導入や仕事の3M(ムリ・ムダ・ムラ)を解消する業務改善による生産性の向上を目指す。ものづくり企業の支援では、商工フェアの開催により、地域のものづくり企業を直接、肌で感じることができ、また地域の若者にものづくり体験の機会を提供し、次世代の事業者育成のきっかけづくりや地域の技術・技能人材の確保を目指す。コロナで大きな影響を受けた飲食店の支援では、費用面の課題から宣伝等をあまり行っていないお店に対して、お店の魅力を広くPRするための支援を実施することで、販路開拓を目指す。IT活用販路開拓では、WebやSNSを用いて販路開拓に前向きな中小企業を掘り起こし、敷居が高いと思われる方にも、ITへの関心を高めてもらう。取り組みに長い時間を要する事業承継では、経営者が高齢になればなるほど、時間的な猶予は限られるため、早めに検討を始め、迅速に次世代の意欲ある経営者に事業を引き継ぐ取り組みが必要であり、その課題解決に取り組む。専門相談では、複雑・高度な課題に対して、弁護士、税理士、社会保険労務士等の専門家の活用や各種支援機関の活用により、早期にスムーズな課題解決を目指す。コロナの影響で大きく落ち込んだインバウンド需要であるが、関西空港の玄関都市として、その活性化は地域経済に大きな影響を与えるため、回復に向けての課題解決に取り組む。</p>
(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点
<p>経営相談事業では、コロナ禍の中、事業者のキャッシュフローの改善強化をメインに日本政策金融公庫他、民間金融機関と連携し、金融支援や資金繰り計画支援を実施。又、補助金獲得にもつながる経営力強化のための事業計画策定支援により事業所の課題解決に向けて取り組んだ。複数の支援が相乗効果を生むよう取り組みをすすめた。又、事業承継支援については、大阪産業局との連携により、支援強化を図った。専門相談事業では、法律、税務、労務、知財について定期的に相談日を設け、高度な課題でも早期解決を図れるように対応した。又、確定申告時期においては、近畿税理士会の協力を得て、小規模事業者のかかえる税務課題に対応した。地域活性化事業では、コロナ感染症や働き方改革をきっかけに、インターネット利用が益々増え、購買動向が大きく変化したことから、時代に即した非接触型の販路拡大を目的とした「動画制作のセミナー」や「はじめてのネットショップセミナー」、「売上につながるネット集客の仕組みセミナー」を開催。モノづくり企業に対しては、「大阪ものづくり優良企業賞」の応募企業の発掘を目的に、技術や製品を紹介し、モノづくり企業の広報支援を行った。飲食店の販路拡大を支援するために、お店の売上上位の商品を掲載し、効果的なPRにつなげる「泉佐野グルメガイド」の作成・PRを行った。人材確保支援としては、「就職フェア」により合同就職説明会を開催。又、各種労働相談や「自己PRポイント発見セミナー」等も同時開催することで、求人・求職ニーズに応じた施策を実施した。</p>
(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況
<p>経営相談支援事業は、コロナ禍の中、積極的な事業所への訪問ができなかった中、感染症の影響を受けた事業所からの相談が増加した。金融支援をベースに、事業計画策定支援や労務支援を中心に支援を行い、事業復活に向けての事業者のモチベーションをアップすることができた。地域活性化事業では、時代に即した販路拡大を目指し、うまくスマホを活用することで、YoutubeやSNSなどで動画を発信することやHPの見直し、SNS活用でアクセスを増やす取り組みなど、販路開拓に向けた土壌醸成に繋がった。人材確保支援事業では、「就職フェア」をはじめ、合同企業就職面接会の開催や「障がい者雇用に関するセミナー」の開催により、積極的な雇用の拡大の一助となった。</p>
(4) 事業を実施した効果、浮かび上がった課題
<p>経営環境の長期的な悪化による課題解決については、前年に引き続き金融機関をはじめ各種支援機関、専門家との連携を図り、なお一層強化して取り組む必要がある。地域活性化事業では、労働環境の整備や受講者の意識の改革や販路開拓における時代の変化に対応する経営者の意識改革等は、そのモチベーションの継続が重要課題であることから、巡回等を通じて適宜、フォローアップに努める必要性が課題として浮かび上がった。また新型コロナウイルス感染症対策の各種支援施策については、情報を素早くキャッチしている事業者がある中、情報を全く知らなかったという事業者も見られ、情報が行き届いていない事業者を少なくすることが課題である。</p>
(5) 次年度の取り組み
<p>関西国際空港の直近の街として、観光・飲食業をはじめとしてコロナの影響で痛手を受けている事業所の景気回復のためのサポートを引き続き行う。特に資金調達面で苦慮されている事業所に対しては、事業計画作成支援を通じて、融資や補助金の活用により支援する。またコロナ禍の中、新たな商品開発やサービスの提供等、新しい取り組みを効果的に実施するための施策の紹介や売上アップのための広報力アップを目指す。それによりコロナ後の新しい時代に向けての地域活性化に繋げる。又、円滑な事業承継を実現することで、地域の活力を充実させるよう、通り組んでいく。</p>

### 3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 泉佐野商工会議所

#### I 経営相談支援事業

##### 支援のポイント・成果

コロナの終焉が未だ見えてこない中、資金繰りに苦慮する事業所が増加していることから、各種補助金の獲得を目指す事業所が増えた。又コロナ禍において事業の継続のため、事業の再構築を図る必要のある事業所が増えてきており、先行きの不透明感が漂う中での今後の方向性を探るものが多くなってきた。金融支援（金融紹介型）への需要もコンスタントに実施。資金繰り支援では、今後の経営に向けてのリスク管理を行えるようになり、資金調達等、早期に解決手段を見つけることに繋がった。創業支援については、コロナ禍の中、今後の見通しが見えない経済環境のため、開業の時期を検討されているケースが多くみられ、具体的な支援に結びつきにくかった。年度の後半頃より、「インボイス制度」に絡む経営課題が見えてきたが、本格的な支援は、次年度に譲ることになった。

##### <代表事例>A社

コロナ禍の中で、非接触の事業が望まれる中、デリバリー事業を立ち上げたいという相談を受け、事業計画の策定を提案し、コストや実施時期、ランニングコスト、売上の増加見込みなど、各項目に亘って指導し、事業計画を完成。事業実施によりコロナ禍においても経営を安定させる筋道をつけることができた。また今後、資金的に不足の事態となれば融資や補助金の申請にも活用できるためリスクに備えることも可能となった。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	200	264	132.0%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	4	17	425.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	5	23	460.0%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	98	50	51.0%	4
マル経融資等の返済条件緩和と支援	事業所	0	2	-	5
資金繰り計画作成支援	事業所	55	51	92.7%	5
記帳支援	事業所	51	18	35.3%	3
労務支援	支援数	51	58	113.7%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0	-	-
マーケティング力向上支援	事業所	5	2	40.0%	3
販路開拓支援	支援数	60	8	13.3%	3
事業計画作成支援	支援数	33	52	157.6%	5
創業支援	事業所	10	3	30.0%	3
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	10	1	10.0%	3
コスト削減計画作成支援	事業所	10	22	220.0%	5
財務分析支援	事業所	51	46	90.2%	5
5S支援	事業所	0	0	-	-
IT化支援	事業所	5	1	20.0%	3
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	-	-
事業承継支援	事業所	10	3	30.0%	3
災害時対応支援	事業所	0	187	-	5
フォローアップ支援	事業所	42	2	4.8%	3
結果報告	事業所	175	236	134.9%	5

#### II 専門相談支援事業

##### 支援のポイント・成果

専門性の高い経営課題の解決のため、各専門相談を実施。専門家へ繋ぐ前に、経営指導員が経営課題についての的確に把握した上で、専門家と繋ぐことを心掛けており、このことが早期の課題解決となり、満足度アップに繋がっている。税務相談では、税理士会との連携により、課題解決について親切丁寧な対応で相談者の満足度が高かった。また法律相談や労務相談、知財相談など、専門家の高い問題の解決に向けて支援を行った。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法律相談	継続	相談者数	10	10	100.0%	5
税務相談	継続	相談者数	12	19	158.3%	5
労務相談	継続	相談者数	4	4	100.0%	5
知財相談	継続	相談者数	4	6	150.0%	5

III 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>●ものづくり企業支援事業 自社製品の円滑なPRができるように、冊子の作成・配布を行い、新たな取引先や新しい技術の創造、異業種分野への進出への足がかりとなるような飛躍をサポートした。又、「大阪ものづくり優良企業賞」の応募企業の発掘を行った。</p> <p>●IT/IoT導入支援事業 新しい日常に対応した販売促進として、スマホでできる動画制作でマーケティング・自社PR等に活かし、売上アップに繋げることを目指した。</p> <p>●人材確保支援事業 「就職フェア」の開催により、これからの成長企業と若年者等の求職者のマッチング機会を設け、中小企業と学生等とのお互いの理解を深めることができた。「就労フェア」では、様々な事情を抱える就職困難者の方と企業ニーズを結びつけ、雇用促進を図ることができた。「障がい者雇用に関するセミナー」では、支援施策に関する情報提供や事例発表を通じ、多様性企業への一歩を踏み出した。「働き方改革」に関するセミナーでは、従来の働き方を見直し、「働きやすい職場環境づくり」への取り組み課題を克服することを旨とし、具体的に実行に移すことを促した。</p> <p>●生産性向上支援事業 「仕事の3M解消セミナー」の開催により、仕事の3Mを解消する業務改善により生産性向上を目指すことで、従業員のスキルアップにも繋がった。</p> <p>●創業支援事業 創業に必要な知識やノウハウを体系的に習得し、実現性の高いビジネスプラン作成を目指し、創業への課題解決への一助となった。</p> <p>●飲食店支援事業 飲食店の売上上位の商品を、「泉佐野グルメガイド」（ナイトマップ）に掲載し、費用面の問題から宣伝をあまり行っていない事業所の宣伝効果を高めることができた。</p> <p>●BCP策定支援事業 「BCP策定ワークショップ」の開催により、BCP策定が高い壁となっている事業所に対して、策定手順を一通り体験頂くことで、今後の取組意欲を高めることができた。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	泉佐野グルメガイド（ナイトマップ）	50.0	35.0	70.0%	68.6	新規顧客の獲得へ繋がったと実感した企業の割合	70.0%	25.7%	36.7%	4
○	就労支援フェア（高齢者雇用促進フェア）	15.0	12.0	80.0%	66.7	採用に結びついた企業の割合	50.0%	16.7%	33.4%	4
○	創業支援連続講座事業	15.0	11.0	73.3%	90.9	創業知識が深まり、創業準備がイメージできた受講生の割合	50.0%	45.4%	90.8%	4
	働き方改革は[働きやすい職場環境づくり]から	15.0	2.5	16.7%	100	働きやすい職場環境づくりに取り組む企業	5社	2.5社	50.0%	3
○	ものづくり優良企業応募企業発掘・冊子作成事業	50.0	45.0	90.0%	71.7	優良企業賞について理解が深まった参加者の割合	70.0%	100.0%	142.9%	5
○	テレワーク推進セミナー	15.0	3.0	20.0%	66.7	本セミナーを受講してテレワーク導入・見直しを行って行く企業の割合	70.0%	66.7%	95.3%	3
○	IT・IoT導入（動画制作・活用）における非接触型の販路拡大事業	22.0	13.5	61.4%	100	ITを用いた販路開拓の方法に理解が深まった割合	70.0%	100.0%	142.9%	3
○	パート社員・シニア社員等の適正な雇用管理・育成・活用によるコロナからの再生事業	15.0	3.0	20.0%	100	パート社員やシニア社員の就労確保対策を進めやすくなったと感じた事業所の割合	70.0%	100.0%	142.9%	3
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	就職フェア（合同就職面接会）	35.0	30.0	85.7%	56.7	若年者等との面談ができた事業所の割合	70.0%	56.7%	81.0%	4
	IT活用販路開拓支援事業	20.0	13.5	67.5%	93.0	ITを用いた販路開拓の方法に理解が深まった企業数	70.0%	93.0%	132.9%	4
	仕事の3M（ムリ・ムダ・ムラ）解消セミナー	20.0	7.0	35.0%	87.5	生産性向上への取組み意識が高まった割合	70.0%	75.0%	107.1%	3
○	障がい者雇用に関するセミナー	15.0	9.0	60.0%	88.9	障がい者雇用に対して取組意識が向上した割合	70.0%	70.0%	100.0%	4
○	BCP策定ワークショップ	15.0	9.5	63.3%	87.5	事業継続力強化計画等の策定	15社	3社	20.0%	3

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

泉佐野商工会議所

事業名		「泉佐野グルメガイド」（ナイトマップ）							
想定する実施期間		R1 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	出来上がったマップの評判も良く、グルメマップとしてのニーズもあることから今年も継続してガイドマップの作成を行いたい。売上上位の商品を掲載することでお店の効果的なPRに繋げること、店舗を掲載するにあたって改めて自店舗の経営の見直しに繋げるようにすることは、昨年と同様である。今回はガイドマップとしての質を上げることに注力したい。昨年のガイドマップでは店舗ごとの紹介ページに提供されるデータから差が出てしまっていた。本年はそういったことを極力避けるために、校正期間等を長めに取り、より良いガイドマップの作成を行っていきたい。そうすることで、お店の魅力がより伝わり、新規顧客の増加へ繋がる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・田尻町内で駅周辺の飲食店を中心に募集する。また、本所と泉佐野市で連携している「泉佐野長者バル」の参加店ネットワーク（泉佐野市内の飲食店約65店舗が加盟・全て南海本線泉佐野駅又は羽倉崎駅周辺の飲食店）において募集を行い50社を支援対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野市内の小規模店に対して募集を行い、泉佐野グルメガイド(ディナーマップ)を作成した。各店舗ごとに夜間営業時に売上の多い料理を紹介していくことで消費者側に印象の残る様なPRを広く行った。具体的には、銀行や観光案内所・市町村の関連団体等で冊子の配布を行い幅広い広報を行った。 【手法・時期】 ①令和3年6・7・8月において掲載店舗募集（職員訪問、チラシ配布・会議所所報等にて案内） ②令和3年9・10月上旬校正確認（各職員で参加店舗に確認） ③令和3年11月下旬より配布開始（参加店舗、銀行、ホテル、まちの活性化課、市町村関連団体等に配架依頼） ④令和4年1月よりアンケート調査 【参加店舗】 42店舗 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
		③市町村連携	市民版の商工会議所ニュースを活用しPRを行った。						
	④相談相乗	担当指導員等で申込や書類受取の際に、相談の掘り下げ等行ったが繋がるものは出なかった。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	35.0	支援実績率	70.0%	満足率	68.6
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げや来店客数が減少している中、新規顧客の獲得・自店の商品の強みを再認識・販路開拓への意識向上に繋がった。							
		代表指標	新規顧客の獲得へ繋がったと実感した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	25.7%	目標達成度	36.7%		
	成果の代表事例	新型コロナウイルスの影響による「まん延防止等重点措置に基づく要請」が解除され、お店を再開した際に、ガイドブックを持参して来られたお客様がいた。ガイドブックに掲載されていた商品が美味しそうであったので、お店の再開を待っていたと仰られたとのこと。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするか)	事業計画にあたって想定していた代表指標よりも大きく下回ってしまった。理由としては、事業計画を立てた際にコロナの影響が落ち着いたことを想定していたが、令和3年度においても、引き続きコロナの影響でまん防の発令や外出の自粛を求められていた為、新規顧客の増加への実感を得ることが出来ない為であった。しかしながら、新規の顧客が来店した事業所も多く、飲食店存続のために、次年度も引き続きディナータイムのお店を対象にガイドブック作りを続けて行く事が重要だと考える。							

泉佐野商工会議所

事業名		就労支援フェア<高齢者雇用促進フェア> (合同就職面接会)							
想定する実施期間		H25 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現下の厳しいコロナ禍また、雇用情勢の中にあって、55歳以上の高齢者を対象に「高齢雇用促進フェア」を開催。求人企業とのマッチングの場を提供する合同就職面接会をはじめ、講座や就労相談などを実施することにより、「高齢者」等の雇用促進を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野公共職業安定所管内(泉佐野市・熊取町・田尻町・泉南市・阪南市岬町)の事業者、又は、関西国際空港内、りんくうタウンの事業所等。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 令和4年1月29日(土)PM1:00~4:00</li> <li>・場所 エブノ泉の森ホール 2F</li> <li>・内容 面接会、中高齢者相談、障がい者就労相談、ハローワーク(職業相談・紹介等)シルバー人材センター相談</li> </ul>							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府との連携により、中高齢者等相談コーナーへの専門家の派遣依頼ができ、相談が可能となった。						
	②広域連携								
	③市町村連携	泉佐野市との連携により事業のPR活動及び当日のスタッフでの協力(市・広報窓口)							
	④相談相乗								
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	12.0	支援実績率	80.0%	満足率	66.7
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>12社の事業所より、正社員、契約社員、パートを含めて79名の募集があり、その内3名が採用された。採用された方々は事業所でそれぞれの業務につくことができ、雇用促進の一助とすることができた。事業所においても、仕事の効率アップにつながった。</p> <p>中高齢者相談8名、障がい者就労相談2名                  シルバー人材センター相談10名、農業セミナー及び農業相談7名、                  ハローワークコーナー7名、就労相談1名、コンビニ仕事説明会5名                  面接対策セミナー3名</p>							
		指標	採用に結びついた企業の割合						
		数値目標	50%	実績数値	16.7%	目標達成度	33.4%		
	成果の代表事例	A社が2名の介護職員を採用することができた。また、B社がパートの方1名を採用することができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	170	目標値(実績)	70	目標達成度	41.2%			
	蔓延防止等重点措置が発令されており、新型コロナウイルス感染者の人数も増加傾向にあり、中高年齢の方々が、会場への来場を控えたため目標値より大幅に減少した。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>高齢者雇用促進フェア(合同就職面接会)の会場で、企業側と求職者側の双方の希望や条件も有り、採用に至ることは難しいが今後も1人でも多くの方を採って頂くよう採用意欲のある事業所に参加して頂き、多くの求職者を雇用して頂けるよう今後も継続して取り組んでいきたい。</p> <p>大阪府、ハローワークとの情報や連絡を密にして、参加企業の求人とマッチした求職者が参加できるよう努力していきたい。</p>							

泉佐野商工会議所

事業名		創業支援連続講座事業
想定する実施期間		R2 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	(現状・課題) 窓口相談において開業資金を調達するにあたり、創業に必要な知識や手続きについて十分に把握されておらず、「実現可能なビジネスプラン」として計画されていないケースが多い。創業希望者が、創業に関する必要な知識を得て、専門家による客観的な批評と適切なアドバイスを受ける機会が必要であることから、泉佐野市の認定連携創業支援事業者として、泉佐野市並びに地域金融機関と連携を図りながら創業支援に取り組んでいる。創業を目指す方や創業間もない方を対象として、創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓等、事業経営の基本を学ぶセミナーを広域連携での実施とすることで、受講する機会を広く提供し、総合的な地域の活性化に繋がる。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	起業を目指している方又は起業後、間もない方
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【第1回】11月10日(水) 18時30分～20時30分 創業の心構え、事業計画の立て方など、創業を成功させるためのノウハウを解説した。(経営) テーマ：1. 創業を成功させる経営 講師：(株)ビジネスサポート(中小企業診断士)</p> <p>【第2回】11月24日(水) 18時30分～20時30分 創業に役立つマーケティングや、儲かる会社、強い組織にするための人材活用術について解説した。 (販路開拓)(人材育成) テーマ：1. お客様を取込む販売計画について 2. 労務管理と社員育成について 3. 社会保険と労働保険について 講師：1. 2 (株)ビジネスサポート(中小企業診断士) 3. (社)全国労働保険事務組合連合会大阪支部(社会保険労務士)</p> <p>【第3回】12月1日(水) 18時30分～20時30分 経営に必須である資金繰りや決算等初期準備やランニングコスト、事業計画について解説した。 (財務) テーマ：1. 財務会計の基礎知識 2. ビジネスプランの作成指導 講師：(株)ビジネスサポート(中小企業診断士)</p> <p>【第4回】12月15日(水) 18時30分～20時30分 ビジネスプランを発表して頂いた。色々な人の意見を聞いてブラッシュアップのキッカケとなるよう解説頂いた。(経営)(販路開拓)(人材育成)(財務)</p>
	①府施策連携	中小企業支援室商業・サービス産業課新事業創造グループと連携
	②広域連携	
③市町村連携	泉佐野市の認定連携創業支援事業者として、市役所等の協力を得て、事業のPRを行い、参加者を募る。	
④相談相乗	本事業終了後においても、創業の個別相談を行うことにより相乗効果を図る。	

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	73.3%	満足率	90.9
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度  (支援企業をどう変化させることができたか)	参加者の多くは、創業への取組み準備が不十分であったが、セミナー受講により課題となっていた項目が明確となり、創業への課題解決への一助となり、創業へのモチベーションが高まった。							
	代表指標	創業知識が深まり創業準備がイメージできた受講生の割合							
	数値目標	50%	実績数値	45.4%	目標達成度	90.8%			
	成果の代表事例	セミナー参加により、志望動機を改めて認識され、詳細な事業計画の立案と開業時期を設定することの重要性を認識された。また岸和田市での開業を目指して、特定創業支援事業を受けたものとして、証明書の交付を受けることとなった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>今回の参加者は、女性の参加者が11名中7名と半数を超えていた。女性の社会進出のひとつとして、創業への関心が高まっている現われであったと見受けられる。セミナー自体の満足度は高く、参加者はそれぞれの課題が明確で、その解決に向け前向きな姿勢で臨まれている。そのため、事業を立ち上げるうえで、本格的な知識を吸収できる本セミナーは有効であると思われる。具体的に創業に向けて特定創業支援事業を受けたものとして、行政に証明書を発行依頼する方がおられた。</p> <p>実際のところ知識を深めるためのスキルアップを目的とした参加者もおられ、指標の設定には再考の余地があると感じた。</p>							

泉佐野商工会議所

事業名		働き方改革は「働きやすい職場環境づくり」から							
想定する実施期間		R1 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>(現状・課題) 働き方改革関連法が順次施行され、中小・小規模企業にも様々な対応が求められている。少子高齢化社会における人口減少などにより、年々、働き手の減少が続いている。こうした「働き手不足」への対策としては、少ない働き手でも必要な業務をこなせるようにするための「生産性を高める」ことがより重要である。</p> <p>そこで、生産性の向上への取り組みを実施するうえで、業務に慣れている方でも、「基本的な確認を省略する、間違っと思ひ込みで判断してしまう、うっかりしていた」などが原因で起こってしまう、「ヒューマンエラーを回避する取組」が、業務の仕組みそのものを見直し、「誰がいつ行っても同じ手順で処理され、間違いが起きない仕組み」にできないかを考え、ミスが発生する確率を減らすことが、生産性向上に繋がっている。</p> <p>今後ますます増加する業務負荷に対し、従業員がいかに効率的にヒューマンエラーを防止できるか。従来の働き方を見直し、中小・小規模企業が「働きやすい職場環境づくり」への取り組み課題を克服することを目的とする。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	経営者、管理職を対象とした、職場環境改善に取り組む、中小・小規模企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>●開催日時：令和4年2月4日(金) 13:30～16:30</p> <p>●内 容：1. ミスとはそもそも何か ～こんなにもある身近なミス～ 2. ミスはなぜ起こるのか ～ミスが起こる5つの原因～ 3. ミスを防ぐ基本的な考え方 ～ミス防止の4つのレベル～ ～ミスを防ぐ職場管理・仕事管理方法～ 4. 教育訓練 ～改善実施活動とその進め方～ 5. 質疑応答</p> <p>●場 所：泉佐野商工会議所 ●講 師：7S3T田中塾 ●参加対象：経営者、経営幹部等</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	市役所・町役場との連携を通じて、案内周知を図る。市・町報版(会議所ニュース)を通じて、幅広く周知する。							
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	2.5	支援実績率	16.7%	満足率	100.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>受講された参加者においては、セミナーに対する満足度は高い。「働きやすい職場環境づくり」については、取り組んではいるが不十分などところがあるとの回答が多くあったが、セミナー受講により、「取組み意識が向上した」や「すでに取り組んでいるが有用な情報が得られた」など、企業が改善しようとする前向きな回答が多く見受けられ、更に取組をすすめるや何らかの取り組みを考える等、積極的な「魅力ある職場環境づくり」へのきっかけになったものと思われる。</p>							
		代表指標	働きやすい職場環境づくりに取り組む企業						
		数値目標	5社	実績数値	2.5	目標達成度	50.0%		
	成果の代表事例	「本番前の練習が大事だと学び、たくさん練習して本番に臨みたい」、「ミスに対する意識がより高まり、とても身になる講習でした」との意見があった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>計画時に予定していた支援企業数は15社であったが、実際のセミナー参加者数は2.5社4名となった。申し込みの段階では、4社11名であったが、感染症の影響により、直前にはオンライン併用のハイブリッド開催としたが、キャンセルとなった企業もあった。目標数値を達成するため、広く企業への周知を行うとともに、個別にFAXによる参加依頼を行った。巡回時にも代表者へセミナー参加を進め、2社からの申込があった。</p> <p>講師は大手メーカー出身であり、経験と実績から参加者の満足度は高かった。企業の多種多様な課題解決に結びつけるセミナー開催のため、企業の代表者、経営幹部からのヒアリングを継続するとともに、内容の周知と啓発に努める。</p>							

令和3年度（2021年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

泉佐野商工会議所

事業名		ものづくり優良企業応募企業発掘・冊子作成事業
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症の影響により、不況が長期化している中、泉佐野市・田尻町にて事業を行っている事業所の製品や商品、技術の広報支援を行い、新たな取引や新しい技術の創造、異業種分野への進出への足がかりとし、現状からの脱却と新たな事業の飛躍をサポートしていく。当事業では、総合力が高く市場で高い評価を得ている優秀な企業を表彰する【大阪ものづくり優良企業賞】の応募企業の発掘を行うこと等を目的に、ものづくり企業の技術や製品を紹介する冊子の製作を行う。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・田尻町にて事業を行っているものづくり企業（繊維タオル・鉄工、一般工業・鋼線鋼索等）
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>1企業A4版片面1ページに自社の紹介文、主な製品・加工技術・設備機械等の写真を掲載し、アピールするべき『製品』や『商品』『技術』『機械』など自社の強みを広く紹介できるような冊子とした。</p> <p>また、冊子に大阪ものづくり優良企業賞の事業概要の説明を記載した。企業の中で、すでに賞を受賞している企業には匠ロゴマークの掲載を行った。</p> <p>■令和4年1月14日冊子発行 【部数】2000部 【掲載事業所】39社 ※支援対象外企業を含めると54社掲載。 【配架先】大阪府下の商工会・商工会議所/泉佐野商工会議所会員事業所/市役所関連団体窓口 【後援】泉佐野市・田尻町 【協力】大阪府</p> <p>■大阪ものづくり優良企業賞応募説明会 【日時】令和4年3月16日(水) 午後2時00分～午後4時00分 【内容】「大阪ものづくり優良企業賞の概要について」「申請書類の記載方法について」「質疑応答」「受賞した企業の取り組み事例発表」「個別相談会」 【講師】大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課販路開拓支援グループ 【参加者】6社6名</p> <p>泉佐野市・田尻町内の製造企業に対して募集を行い、ものづくり企業ガイドブックを作成した。冊子作成後に、大阪府ものづくり支援課と連携して大阪ものづくり優良企業賞の説明会を実施した。</p>
	<p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>	
	①府施策連携	大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課と連携し大阪ものづくり優良企業賞の説明会を実施した。
③市町村連携	泉佐野市・田尻町と連携し後援名義の提供の他、市役所等公共施設への冊子配架にご協力頂いた。また、市民版の商工会議所ニュースを活用しPRを行った。	
④相談相乗	本事業への参加により販売促進への取り組みを強めた事業所や大阪ものづくり優良企業賞への申請を検討している会社もあったが、3月末時点では、カルテ化には繋がらなかった。	

事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	45.0	支援実績率	90.0%	満足率	71.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社のPRに繋がった。</li> <li>・自社の製品や設備・技術力について見直しができる。</li> <li>・冊子を見た人から問い合わせがあった。</li> <li>・日々の販促活動への意識が高まった。</li> </ul>							
		代表指標	優良企業賞について理解が深まった参加者の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
	成果の代表事例	①今回、冊子を掲載したことにより泉佐野市の企業から、催事出展案件の問い合わせがあり、販路開拓に繋がった。							
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	<p>計画では、冊子掲載事業所数は40社を予定をしていたが、39社の掲載になった。冊子掲載により、会社のPRに繋がったと回答した事業所も多く、満足度も70%以上あった。販路開拓の成果について、現時点ではまだ売上にはつながっていないが見込みはあると回答した事業所も一定数あった。実際に、市内の事業所から問合せがあった事業所もあるが、今後も販路開拓や会社のPRについて、継続していく必要があると感じた。</p> <p>計画では、大阪ものづくり優良企業賞の説明会の参加者は10社を予定していたが、6社の参加になった。説明会の内容について満足している事業所が多く見られた。説明会終了後のアンケートでは、参加者全員が大阪ものづくり優良企業賞への応募を検討していると回答があった。今後大阪ものづくり優良企業賞申請について相談があれば、随時フォローを行っていく。</p>							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	39.0	支援実績率	97.5%	満足度	71.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社のPRに繋がった。</li> <li>・自社の製品や設備・技術力について見直しができる。</li> <li>・冊子を見た人から問い合わせがあった。</li> </ul>							
		指標	アンケート調査による企業満足度の把握						
		数値目標	70%	実績数値	71.7%	目標達成度	102.4%		
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	60.0%	満足度	100%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	説明会に参加したことで、大阪ものづくり優良企業賞の事業概要と受賞メリット、応募申請書への記載方法について理解ができた。							
		指標	優良企業賞について理解が深まった参加者の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%		
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				

泉佐野商工会議所

事業名		テレワーク推進セミナー							
想定する実施期間		R 3 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現在、大阪では新型コロナウイルス感染者数が徐々に増加しており、新規感染者数は高い数値を保ち続けている。各企業も自社から感染者が出た場合に、経営継続が困難になる可能性がある為、企業の感染対策の意識も強くなっている。しかし、いままでテレワークを行っていない企業はどのようにテレワークを進めていけばよいか分からない。そういった導入部分で足踏みをしている企業や、既にテレワークを導入しているがあまり効果的に活用できていない企業が本セミナーへ参加して頂き、自社に合った形でのテレワークを導入・活用してもらうことが本事業の目的である。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野・田尻における事業所でテレワーク導入を検討している企業・テレワークをより良く行いたいと考えている企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>オンライン（Google meet）に於いて、大阪働き方改革推進支援・賃金相談センターより専門家講師を招き、テレワークの導入方法や活用における社員への評価制度などの講義を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 令和4年2月21日（月）午後2時～4時00分</li> <li>・場所 オンライン（Google meet）</li> <li>・講師 大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター 専門家 社会保険労務士・中小企業診断士</li> <li>・内容             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テレワーク導入事例</li> <li>2. テレワークの全体像</li> <li>3. テレワークの導入準備</li> <li>4. 労務管理制度の整備</li> </ol> </li> </ul>							
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
	①府施策連携		大阪府の推進するパッケージ（労-13）に沿ってセミナーを開催した。						
②広域連携									
③市町村連携									
④相談相乗		個別相談を募って事業所の相談に応じる形だったが、個別相談の希望がなかった							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	3.0	支援実績率	20.0%	満足率	66.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	受講された方からはテレワークへの理解が深まったとの意見もあったが、もう少し具体的な内容にも触れて欲しかったとの意見もあった							
	代表指標	本セミナーを受講してテレワーク導入・見直しを行っていく企業							
	数値目標	70%	実績数値	66.7%	目標達成度	95.3%			
	成果の代表事例	自社へテレワークの導入を検討していた折に、本セミナーの開催を知り、参加した。結果的に自社のテレワーク導入方法の見直しへと繋がった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本事業は新型コロナウイルスの影響により、各企業がテレワーク導入へ意欲的だと思い、計画したが、緊急事態宣言の発令やオミクロン株の流行などがあった為、当初予定していた時期に開催が出来なかった。そのため、テレワーク導入期のタイミングを逃してしまい、目標としていた事業者数も集まらなかった。							

泉佐野商工会議所

事業名		就職フェア（合同就職面接会）							
想定する実施期間		H2 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症のため、厳しい雇用情勢の中にあるが、新型コロナの収束後を見据えてこれからの成長企業と求職者のマッチング機会を設けることで、企業の人材獲得に貢献し、地域の雇用促進を図る。企業にとっては将来の展開のために、優秀な人材を確保する絶好のチャンスである。また、学生等と中小企業とが直接交流することにより、中小企業への理解を深めて頂く。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野公共職業安定所（泉佐野～阪南市）の管内事業所外、又は、関西国際空港やりんくうタウンの事業所への参加募集を行う。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>・開催日 令和3年11月25日（木）PM1:00～PM5:00</p> <p>・会場 関西エアポートワシントンホテル 1F リヴァージュ</p> <p>・内容 ①就職希望の中途採用者・パート・アルバイト・既卒者・大学生、短大生、専門学校生と求人企業が個別に面接を行う。</p> <p>②ハローワークコーナー</p> <p>③労働相談・情報コーナー</p> <p>④若年者就労相談・就職者へのPR新聞折込チラシ、近隣商業施設公共施設・掲示板等へのポスター掲示、立て看板</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <p>①府施策連携 大阪府商工労働部 雇用推進室と連携を行い、労働相談情報コーナーを設置し、求職者への相談に繋いだ。</p> <p>②広域連携 泉佐野商工会議所（17社）・熊取町商工会（2社）・泉南市商工会（9社）・阪南市商工会（2社）・岬町商工会（0社）の協力による。</p> <p>③市町村連携 泉佐野市、田尻町より、ポスターの掲示及び市報・町報のPRの協力体制ができた。</p> <p>④相談相乗 事業実施後に、カルテ化に取り組んだ。</p>							
	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	35	支援企業数(実績)	30	支援実績率	85.7%	満足率	56.7%
	事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	ワークフェアに参加頂いた30社の中で、69名の応募があり、15名の採用に繋がった（1月中旬現在）。採用された方々は各事業所でそれぞれ業務に就くことができ、雇用促進の一助とすることができた。また、事業所においても、事業継続に必要な人材を確保することが出来た為、仕事の効率を上げることができた。						
成果の代表事例	代表指標	若年者等との面談ができた事業所の割合							
	数値目標	70.0%	実績数値	56.7%	目標達成度	81.0%			
	成果の代表事例	参加頂いた中のA社では、多数の方々と面接ができ、その中で1名の方を採用することができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	120	目標値(実績)	101	目標達成度	84.2%			
	求職者数								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本年度においても新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きかった。募集・開催においても常に感染防止の対策を取る必要性があった為、難しい開催にはなったが、幸いなことに感染者が出ることもなく、無事に開催することができ、雇用促進へ繋がったと感じる。今後とも採用意欲のある事業所に参加して頂き、多くの求人の方々が、雇用して頂けるよう継続して取り組んでいきたい。							

泉佐野商工会議所

事業名		IT活用販路開拓支援事業															
想定する実施期間		R2 年度～ R3 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること															
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	あらゆる業種においてITの活用は導入効果が期待できるが、ツールや手法が多数存在するため、導入にあたっての敷居が高くなっている状況である。本事業ではWeb・SNS等を用いて販路開拓に取り組む前向きな中小企業を掘り起こし、講座形式で支援を行っていく。今回は新型コロナウイルスの影響でプチビジネススタート&フォローを中心とした事業の実施が難しい状況であったため、変更を行った。本年度も新型コロナウイルス影響が見込まれるため、Web・SNSを用いての販路開拓を重視した講座を行う。															
	支援する対象 (業種・事業所数等)	広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域において業種・業態を問わずWeb・SNSを用いての販路開拓を考えている方を対象に20人（泉佐野：10人、岸和田：5人、貝塚：5人）を想定。															
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>オンライン（Google meet）に於いて、専門家の方を招き、IT活用における販路開拓の講義を行った。</p> <p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 令和4年2月28日（月）午後2時～4時00分</li> <li>場所 オンライン（Google meet）</li> <li>講師 大阪府よろず支援拠点コーディネーター</li> <li>内容                     <ol style="list-style-type: none"> <li>ホームページのお客さんは誰？</li> <li>集客できるホームページの作り方</li> <li>これからのHP作り</li> <li>SNSからHPにつなげ、集客するには</li> </ol> </li> </ul> <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 令和4年3月8日（月）午後2時～4時00分</li> <li>場所 オンライン（Google meet）</li> <li>講師 サノサキニン(株)</li> <li>内容                     <ol style="list-style-type: none"> <li>出店先で異なる市場規模</li> <li>ネットショップの種類</li> <li>自社ショップ型の集客方法とは</li> </ol> </li> </ul> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td>泉佐野5.5社・岸和田5社・貝塚3社のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td></td> </tr> </table>								①府施策連携		②広域連携	泉佐野5.5社・岸和田5社・貝塚3社のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開	③市町村連携		④相談相乗	
	①府施策連携																
	②広域連携	泉佐野5.5社・岸和田5社・貝塚3社のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開															
	③市町村連携																
④相談相乗																	
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	13.5	支援実績率	67.5%	満足率	93.0%								
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	参加企業がWeb・SNSを用いての販路開拓を目指す又は手法の改善をするようになる。															
		代表指標	ITを用いた販路開拓の方法に理解が深まった														
		数値目標	70%	実績数値	93%	目標達成度	132.9%										
	成果の代表事例	本セミナーを受講された個人事業主の方でHPやSNSに対する理解が深まり、今月よりITを用いた販路開拓を実践してみようと至った。															
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度											
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本年度も前年度から続く新型コロナウイルスの影響により、各企業のIT利用が盛んになると予想を行い、本事業を実施した。だが、前年度ほど参加人数が集まらず、各企業のIT進出が完了してしまったか企業からの関心が薄れてしまったと予想される。ただ、本年度は2回のセミナーを開催し、両セミナーともオンラインでの開催を行うことができた。前年度と比べても特にトラブル等も起こらず、開催出来たため、今後ともオンラインでのセミナー開催を考慮したいと思う。															

令和3年度（2021年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

泉佐野商工会議所

事業名		仕事の3M（ムリ・ムダ・ムラ）解消セミナー							
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症拡大により、当地域経済も甚大な影響を受けました。現在は感染予防対策を講じながら徐々に経済活動が動き始めましたが、今後も少なからず各業種ともに影響を受け続けることが想定されます。このコロナ禍を乗り越え継続的な事業を営むことに欠かすことのできない生産性向上と併せて、貴重な従業員を育成することを目的としたセミナーを下記の通り開催します。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種は問わず、広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域における事業所で勤務する全従業員を対象として、20社（泉佐野：10社、岸和田：5社、貝塚：5社）を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時：2022年2月24日（木）13：30～16：30 開催場所：泉佐野商工会議所 4Fさくらホール テーマ：仕事の3M（ムリ・ムダ・ムラ）解消セミナー 講師：(株)ミライフ経営総研 ①ムリ・ムダ・ムラを解消する業務の改善とは ムリをなくしてキャパシティを高める/ムダをなくして仕事のスピードをあげる/ムラをなくして仕事の質をあげる ②ムリ・ムダ・ムラを生まない業務の進め方 問題点の洗い出しと分析/業務プロセスのチャート化を図る/費用低減、納期短縮、品質向上を図る改善プランの構築 ③生産性をあげる業務改善の遂行 5Sを励行し、維持管理を徹底する/コストダウン、利益の拡大を追求/文書管理の徹底化と会議の有効活用							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携	泉佐野(3.5社)・岸和田(1社)・貝塚(2.5社)のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開						
③市町村連携	各市町村の関係窓口での開催案内の周知								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	7.0	支援実績率	35.0%	満足率	87.5%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	日々の業務を行なうにあたり、本セミナーを通じて、3M（ムリ・ムダ・ムラ）の解消をすることで、生産性向上と同時に従業員のスキルアップが見込まれ、従業員の職場定着・離職防止になり組織基盤の強化にもつなげることができた。							
		代表指標	生産性向上への取組み意識が高まった割合						
		数値目標	70%	実績数値	75.0%	目標達成度	107.1%		
	成果の代表事例	本セミナーを受講して、今後若手社員の育成・定着について取り組みをしたい（検討したい）、これまでの取り組み内容を再検討したいとの意見をいただくことができた。							
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	アンケートの「日頃、仕事を進めていく上で、抱えている課題」の自由記述では、「5S活動を小売店で実施する場合の具体的な事例」「モチベーションアップの話法、クレーム対応、お客様の囲い込み・管理方法」について知りたいとの意見をいただいた。こうした意見を参考に今後取り組んでいきたい。							

泉佐野商工会議所

事業名		障がい者雇用に関するセミナー							
想定する実施期間		R 3 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	障がい者雇用における民間企業の法定雇用率が、令和3年3月1日以降さらに引き上げられることで制度の対象となる事業主の範囲が、従業員 <b>43.5</b> 人以上に広がることや少子高齢化社会において人材不足が予測されていることに伴い、障がい者雇用に取り組もうとする中小企業に対して、積極的な雇用の拡大の一助になることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の事業所に募集をはかり、業種は特定しない。 また、法定雇用率制度の対象事業所のみならず、関心のある事業所を幅広く支援対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>●開催日時：令和3年10月27日（水）14:00～16:00</p> <p>●内容：・障がい者雇用率制度、障がい者雇用納付金等の制度の解説 ・雇い入れる際の業務の切り出しや雇用管理について ・助成金や補助金の紹介及び申請等サポート機関の紹介 ・事例紹介（2社）</p> <p>●場所：泉佐野商工会議所 4階 さくらホール</p> <p>●講師：大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課より</p> <p>●事例紹介事業所：①鉄工関係事業所 ②運輸関係事業所</p> <p>●参加対象：経営者、人事担当者</p> <p>●集客方法：会報への掲載、会員向けDM発信、個別巡回・窓口配布にて行う。</p>							
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課の協力で、制度概要など細かに伝えることが出来た。また、周知協力を通じて幅広い周知が出来た。						
		②広域連携	泉佐野（4社）岸和田（4社）貝塚（1社）の3市合同で行うことで幅広い周知が出来た。						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	9.0	支援実績率	60.0%	満足率	88.9
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	【参加講座のテーマへの取組意識】が講座参加後のアンケートにおいて、前向きなものに変化したかどうかを判断の基準にしている。変化したかどうかについては【取組意識の向上（変化）】を基準に判断している。具体的には、【参加講座のテーマへの取組意識】において「これまで取り組んでいなかった」や「取組は不十分であった」と回答した事業所が【取組意識の向上（変化）】において「今後活用に取組んでいきたい」や「セミナーを参考に取組みたい」と回答した場合に、障がい者雇用に対して取組意識が向上した件数として数えた。 また、講座を通じて、障がい者雇用に取り組む際に、頼る機関や利用できる制度、採用ルートなど事例紹介等でより具体的に伝えることが出来た。それにより取組意識が向上した。							
		代表指標	障がい者雇用に対して取組意識が向上した割合						
		数値目標	70%	実績数値	70%	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	発達障害のある従業員がいる参加事業所があり、事業所内での対応に苦慮しておられたが、本講座参加の場を利用して他の参加事業所と意見交換する機会を提供することが出来た。セミナーの中身だけを講座開催の効果測定の対象にはいけないと感じました。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	障がい者と一口に言ってもその障がいや対応方法は各個人によりさまざまであり、今回の講座のみでは障がい者雇用を目指す事業所の多くの悩みをカバーしきれていないとは言えない。悩みの多くは、雇用する方の障害の内容によると思われるため、次回は精神障害・発達障害の方を雇用されている事業所の事例紹介を行いたい。また、障がい者雇用については社会全体で解決を図るべき課題の一つであり、より多くの事業所に関心を持っていただくために周知手段や案内方法についても検討したい。							

泉佐野商工会議所

事業名		BCP策定ワークショップセミナー	
想定する実施期間		H 26 年度～ 年度まで ※複数年度段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	(現状・課題) 大規模災害や感染症などの様々なリスクに備え、事前にBCPを策定し、事業の継続或いは早期復旧できるよう、平常時より緊急時の事業継続の為の方法などを取り決めておくことが重要であるが、その取り組みが未だできていない事業所が多いという現状に対して、BCP策定に関してその不安を取り除き、ワークショップ型のセミナーを通じて、防災対策、BCP策定の重要性・必要性を学んで頂く事で、今後の本格的な取り組みに繋げる。	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・貝塚市・阪南市の広報連携にて実施。各市域のすべての事業所のうち、BCP・BCM について知識や関心はあるが、策定には至っていない企業、BCPを策定する必要性は感じているが手順がわからない企業等を対象とした。15社（泉佐野10社・貝塚3社・阪南2社）	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時 令和3年11月18日（木）PM1:30～4:40 場 所 泉佐野商工会議所 研修室 講師には、当テーマに精通している専門家を招き、ワークショップ形式にて開催。大阪府施策連携、広域連携（幹事：泉佐野・貝塚商工会議所、阪南市商工会）にて実施。内容としては、「企業における地震対策とBCP」をテーマに、最近の大規模地震とその被害状況、トラフ地震に関する基礎知識、地震発生時の初動対応のポイント、BCPの策定等について講義を行った。その後、BCP机上模擬訓練の実施、事業継続力強化計画認定制度の概要について講義を行った。 また「大阪府が推奨するBCPの策定等の紹介」を行った。	
	①府施策連携	大阪府の経営革新グループと連携（商工NO.10「BCP/BCMの普及促進」）	
	②広域連携	当所幹事（3.5社）、近隣の貝塚（3社）阪南（3社）との広域連携事業として実施。各所の会報やHPを通じて幅広く周知。	
③市町村連携	市役所・町役場との連携を通じ、事業の周知		
④相談相乗	フォローアップ態勢を整えた。		

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	9.5	支援実績率	63.3%	満足率	87.5
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度  (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>今回のセミナーの主な内容はパート①では、①最近の地震災害について 南海トラフ地震の異常現象 ②企業の基本的対応の流れ 従業員携帯カードの活用 備蓄品の配布等、初動対応の流れ ③非常時の体制・設置場所 連絡通信手段の比較（プラス面・マイナス面） 対策本部の活用～初動について ④災害時の対応業務（給与の支払い・資金繰り） ⑤BCP策定と維持管理の流れ ⑥重要業務の選定等について講義頂いた。パート②では、「机上模擬訓練」として、各種の状況シナリオをもとに、各グループに分かれて対処方法の検討を行い、発表を行った。また大阪府経営革新グループより『超簡易版BCP 「これだけは！」シート』（自然災害・感染症対応）、災害時の一斉帰宅についての留意点、飲食物等の備蓄、安否確認・情報収集手段の確保、電気自動車・燃料電池自動車等の活用について、説明頂いた。参加者からは、これを機にBCP策定に向け、取組を検討したいという声を多く頂き、地域でのBCPへの関心度がアップしたと思われる、各事業所での意識の拡大が期待できる。また当日は、災害等緊急時の備えに役立つ「燃料電池自動車」を展示紹介頂き、BCPへの更なる関心を高めることができた。</p>							
	代表指標	事業継続力強化計画等の策定							
	数値目標	15.0社	実績数値	3社	目標達成度	20.0%			
	成果の代表事例	<p>参加者は、BCPへの取組を、まだされていない事業所であったが、今回のセミナーを受けられて、これからの取組のきっかけになりそうだ、という事業所が増え、BCPへの期待度も上がった。また机上模擬訓練を行ったことにより、BCPがより身近なこととして感じる事ができ、冷静に物事を考えることができる時期に検討しておくことの重要性を認識頂</p>							
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>・参加頂いた方は、皆さん好評で満足度が高くBCP作成に向けての動機づけに結びつき、これを機に取り組みを検討したいという積極的な声を頂いた。 次期以降も継続し、1社でも多くの事業所が策定できるように取り組みたい。そのためには、セミナー参加者を地道に増やしていきたい。</p>							

泉佐野商工会議所

事業名		IT・IoT導入（動画制作・活用）における非接触型の販路拡大事業														
想定する実施期間		R 3 年度～ 年度まで ※複数段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること														
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	働き方改革や新型コロナウイルス感染症をきっかけにテレワーク(リモートワーク)、自宅消費など、インターネット利用がますます増え、購買動向は大きく変化している。そんな中、IT・IoT導入(上手くスマホを活用)し、YoutubeやSNSなど動画を発信するのもマーケティングに効果的であるという点に注目し、自社で簡単にできる動画作成の手法から、動画を見てもらうための方法やコツ、目標数字の立て方から目標達成までのプロセスを身に付けることで、新型コロナウイルス感染症による影響からの再生を図る。														
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・田尻町の商工業者22社の参加を想定														
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	動画マーケティングの専門家講師を招き、効果的なニーズの訴求や自社で簡単にできる動画作成の手法をセミナー形式にて解説を行ってもらった。 ・開催日 令和4年3月24日(木)午後2時～4時00分 ・場所 泉佐野商工会議所 2F 会議室 ・講師 広報専門家 ・内容 ①「新しい日常」に対応した販売促進としての動画活用 ②動画マーケティングの成功事例 ③動画での自社PRのパターンや効果 ④動画制作の基本 ⑤発信方法と目標設定、達成プロセス等														
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 局-5 コロナパッケージ⑧ 大阪産業局MOBIO事業部技術支援チームと連携しながら実施した。 ②広域連携 ③市町村連携 市役所・町役場及び市・町報版(会議所ニュース)を通じて幅広く周知した。 ④相談相乗 個別での相談には繋がっておらず、カルテ化には至らなかった。														
		<table border="1"> <tr> <td>総支援企業数(計画)</td> <td>22.0</td> <td>総支援企業数(実績)</td> <td>13.5</td> <td>支援実績率</td> <td>61.4%</td> <td>満足率</td> <td>100%</td> </tr> </table>							総支援企業数(計画)	22.0	総支援企業数(実績)	13.5	支援実績率	61.4%	満足率	100%
総支援企業数(計画)	22.0	総支援企業数(実績)	13.5	支援実績率	61.4%	満足率	100%									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	<table border="1"> <tr> <td>総支援企業数(計画)</td> <td>22.0</td> <td>総支援企業数(実績)</td> <td>13.5</td> <td>支援実績率</td> <td>61.4%</td> <td>満足率</td> <td>100%</td> </tr> </table>							総支援企業数(計画)	22.0	総支援企業数(実績)	13.5	支援実績率	61.4%	満足率	100%
	総支援企業数(計画)	22.0	総支援企業数(実績)	13.5	支援実績率	61.4%	満足率	100%								
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	スマホを用いた販路開拓を目指す又は手法の改善をするようになる。 代表指標 ITを用いた販路開拓の方法に理解が深まった割合 数値目標 70% 実績数値 100.0% 目標達成度 142.9%														
	成果の代表事例	自社の商品説明の動画をGoogle analyticsを用いて分析を行い、どういった動画では再生されるのかを予想立てをした。その結果、前回アップロードした動画よりも再生回数が伸び、自社商品のPRにつながった。														
その他目標値の実績	<table border="1"> <tr> <td>目標値(計画)</td> <td></td> <td>目標値(実績)</td> <td></td> <td>目標達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度												
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本セミナーでは、YouTubeを用いた動画の作り方や再生回数を伸ばす方法などを学ぶ機会になったと感じる。しかし、2時間という時間の中で、完全には伝わらなかった部分もあると感じた。今後、同テーマでセミナーを行う場合は、踏み込んだ実践形式のセミナーを行い、分かりにくい部分を少しでも取り除けるようにしていきたい。														

泉佐野商工会議所

事業名	パート社員・シニア社員等の適正な雇用管理・育成・活用によるコロナからの再生事業								
想定する実施期間	R3 年度～ R3 年度まで ※複数年度段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2022年の10月から101名以上の事業所、2024年10月からは51名以上の事業所で、パート社員への社会保険適用が拡大される。社会保険は雇用保険よりもはるかに高額な保険料が会社負担となり、従業員も給与の手取り減少に直結する問題である。対策の無いまま実施日を迎えることは、会社も急な人件費増加に慌てることになりかねない。又、昨年改正された高年齢者雇用安定法により、70才までの就労確保も努力義務化されている。このような状況の下でも積極的な対応が望まれることから、法改正対応を学び、人手不足を解消すると共に、経営力をさらに強化する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	経営者、管理職を対象とした職場環境改善に取り組む中小・小規模企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時 令和4年3月18日(金) PM2:00～4:00</p> <p>場所 泉佐野商工会議所</p> <p>講師 専門家</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パート社員、シニア社員の雇用状況</li> <li>・押さえておきたい法改正のポイント</li> <li>・パート社員社会保険適用拡大への対策</li> <li>・シニア社員70才就労確保への対策</li> <li>・同一労働同一賃金問題への対策</li> <li>・必要となる諸規定の整備</li> <li>・関連助成金のフル活用 等</li> </ul> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携	大阪府労働環境推進グループ阪南地域労働ネットワークと連携(労働NO.12コロナパッケージ⑥)						
		②広域連携							
		③市町村連携	役所の窓口に案内状を配架頂き、広くPR頂いた。広報誌での記事掲載によるPR。						
	④相談相乗	現状のところでは直接、相談はないが、相談があれば適宜、対応していく。							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	3.0	支援実績率	20.0%	満足率	100%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	パートやシニア社員の就労確保対策を進めやすくなったと感じた事業所の割合が80%超あり、今後の進捗に期待がもてるようになった。又、同一労働同一賃金問題への対策にも課題があるが、押さえておきたいポイントについて、整理でき、今後の具体的手法について検討し易くなった。							
		代表指標	パート社員やシニア社員の就労確保対策を進めやすくなったと感じた事業所の割合						
		数値目標	70.0%	実績数値		100.0%	目標達成度	142.9%	
成果の代表事例	今回のテーマにおける参加者の満足度は高く、自社がかかえる課題解決に向けてのポイント整理に役立ち、概ね満足頂いた内容であった。盛りだくさんの内容であったが、「非正規社員の雇用対策」全般について理解を深めて頂き、今後の就労確保対策を進めやすくなったと感じて頂いた。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	開催時期が年度末になってしまったので、日程的に参加が難しい傾向にあった。またPRについても浸透するところまでは、至らなかった。今回のテーマはコロナ後の企業経営においても、重要なテーマであるため今後とも積極的なアプローチをはかり、施策の普及や就労確保対策に向けての支援を継続する。							